令和7年度 国語科 精選国語

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	3 年次
教科書	論理国語（大修館） 文学国語(数研出版)	副教材等	新訂 国語図説〔六訂版〕（京都書房） 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級（桐原書店） 読み解くための現代文単語（文栄堂）【B 組のみ】

2 科目の目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学力スタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学力スタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学力スタンダート】 ①「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 一つの事物に対し、国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、多方向から見つめることで、生徒たちの探究心を育てていく。
【評価の方法】 漢字テスト 定期試験 発問評価 グループワーク プレゼンテーション	【評価の方法】 定期試験 発問評価 指名音読 グループワーク プレゼンテーション	【評価の方法】 授業態度 指名音読 ノート グループワーク プレゼンテーション

4 3観点を組み合わせた評価の方法

「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	単元名 人はなぜ贈与するのか 『ひよこの眼』	【知・技】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 文章の種類を踏まえていて、内容や構成、論理の展開について的確にとらえている。 【主】 学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。 【知・技】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って説明しようとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 ノート グループワーク プレゼンテーション
6 7	ポスト真実時代のジャーナリズムの役割	【知・技】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】 学習課題に沿って、実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 ノート グループワーク プレゼンテーション
9 10 11 12	『舞姫』	【知・技】 明治時代の考え方や思想を理解し、作品を理解している。 【思・判・表】 豊太郎の置かれている状況を四つに分け、それぞれの時期で豊太郎の望んでいた生き方をまとめる。 エリスの豊太郎に対する心情変化をまとめる。 【主】 学習課題に沿って、本文中の語句を理解し、粘り強く作品を読もうとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 ノート グループワーク プレゼンテーション
1	多数決を疑う	【知・技】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主】 学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	授業態度 発問態度 指名音読 ノート グループワーク プレゼンテーション

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「現代文」では様々な学習活動を行い、１年間の学習を通して学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などをよく聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。現代文で扱う教材は、読んでいて「分からない」と思う文章ばかりです。「分からない」から思考を止めるのではなく、「分からない」からこそ考え続けてください。

また、毎時間辞書を必ず用意しておいてください。

評価については、上で説明したように様々な観点から行います。普段の授業の１時間１時間を大切にしてください。なお、国語の力を向上させるには授業だけではなく、読書の習慣をつけることが大切です。積極的に読書に取り組み、できる限り多くの文章に触れるようにしましょう。

令和7年度 国語科 古典研究

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次
教科書	古典探求（文英堂）	副教材等	新訂国語図説六訂版 （啓隆社）

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【イチカシ学力スタンダード】 ◊国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学力スタンダード】 ◊グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ◊プレゼンテーションについて 自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学力スタンダート】 ◊「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、物事を多方面から捉えられるようにする。
【評価の方法】 〇小テスト 〇課題レポート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・授業ノート	【評価の方法】 〇小テスト 〇課題レポート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・授業ノート ・授業振り返りシート	【評価の方法】 〇小テスト 〇課題レポート 〇授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・授業ノート

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 7	源氏物語 百人一首	【知・技】『源氏物語』という作品について基礎的な知識を持っている。 『源氏物語』の登場人物の関係を理解している。 【思・判・表】話の展開を把握している。 登場人物の思いを読み取っている。 自分の考えを持ち、発表できる。 【主】教材に興味を持って取り組んでいる。 他者の考えを知り、自分の考えを深めようとしている。	〇小テスト 〇レポート 〇課題レポート ・プレゼンテーション ・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート （演習含む）
9 12	源氏物語 百人一首	【知・技】『源氏物語』という作品について基礎的な知識を持っている。 『源氏物語』の登場人物の関係を理解している。 【思・判・表】話の展開を把握している。 登場人物の思いを読み取っている。 自分の考えを持ち、発表できる。 【主】教材に興味を持って取り組んでいる。 他者の考えを知り、自分の考えを深めようとしている。	
1 3	課題研究 問題演習	【知・技】読解のために必要な古文単語や文法について理解を深めている。 【思・判・表】話の展開を把握している。 作中人物の心の動きや行動等の丁寧な読み取りができている。 【主】教材に興味を持って取り組んでいる。 自身の教材への考えを深めようとしている。	

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

知識を得るだけではなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでほしい。
自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、他所の意見にも耳を傾け、物事のとらえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作りだす」ものだととらえ、積極的な取り組みを期待する。

令和７年度 国語科 言語活動国語

１ 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次
教科書	国語表現（東京書籍）	副教材等	国語表現ワークブック（東京書籍）

２ 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学力スタンダード】 ①　国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学力スタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学力スタンダート】 ①「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 一つの事物に対し、国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、多方向から見つめることで、生徒たちの探究心を育てていく。
【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・ワークブック ・ワークシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・作文 ・はがき	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・ワークブック ・ワークシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・作文 ・はがき	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・ワークブック ・ワークシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・作文 ・はがき

４ 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 7	分かりやすく説明しよう	【知・技】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思・判・表】・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫している。 【主】・分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし，学習課題に沿って，言葉選びや言葉遣い，情報の整理などの観点から，説明の仕方を改善しようとしている。	・振り返りシート ・ワークブック ・ワークシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・作文
	論理的な文章を書こう	【知・技】・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思・判・表】・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主】小論文を書く活動を通じて，設問に応じて主張を組み立て，根拠を明確にしながら論じることを粘り強く理解し，学習の見通しをもって自らの文章を改善しようとしている。	
9 12	「自分」を表現しよう	【知・技】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 【主】自分を表現する活動を通じて，相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し，今までの学習を生かして表現を改善しようとしている。	・振り返りシート ・ワークブック ・ワークシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・作文
	話し合う力をつけよう	【知・技】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 【思・判・表】・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫している。 【主】・ファシリテーションの意義や技法を粘り強く理解し，学習の見通しをもって話し合いの中で積極的に実践しようとしている。	
1 3	手紙の書き方	【知・技】・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思・判・表】・「書くこと」において，自分の思いや考えを 明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫している。 【主】・自身の経験を振り返り，読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫して，自分の思いを的確な言葉で表現しようとしている	・振り返りシート ・ワークブック ・ワークシート ・はがき

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

我々が自分の考えを表現するには、その内容を的確に相手に伝えるために、さまざまな技法が必要になってきます。音声で伝える場合と文章で伝える場合は当然違いがあります。それぞれについて適切な事柄を修得して下さい。また、コミュニケーションの際には相手の話を聞く態度も非常に重要になります。相手を思いやることも身に付けて下さい。良い小論文や作文を書くためには自分の考えをしっかりと持たなければなりません。そのためにはいろいろなことに興味を持ち、小さなことにも疑問を持って生活する姿勢が大切です。さらに国語力を高めるには読書が必要不可欠です。積極的に読書に親しみましょう。

国語辞典を使うことが多くなると思います。用意しておきましょう。

令和７年度 公民科 政治･経済

１ 科目について

単位数	2単位	学科･学年	3年次
教科書	高等学校 政治･経済(第一学習社)	副教材等	政治経済 2025(とうほう)

２ 科目の目標

社会の在り方についての見方･考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質･能力を次のとおり育成することを目指す。

３ 観点の到達目標および評価の観点･方法

知識及び技能	思考力･判断力･表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 **社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。**	**【観点の到達目標】** **国家及び社会の形成者として必要な選択･判断の基準となる考え方や政治･経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。**	**【観点の到達目標】** **よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。**
【イチカシ学力スタンダード】 **･基礎的事項を習得し、日常生活の中で使用できる。** **･資料を読み取るだけでなく、自ら資料をまとめ、他者に説明できる。**	**【イチカシ学力スタンダード】** **･グループワークを通して課題を構想し、自分なりの解決方法を説明することができる。**	**【イチカシ学力スタンダート】** **他者の意見も尊重しながら聞くことができ、自らの意見を形成することができる。**
【評価の方法】 ･期末考査 ･授業での製作物	【評価の方法】 ･期末考査 ･単元レベルでのレポート等	【評価の方法】 ･考査やレポートにおける記述

４ 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力･判断力･表現力，主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	日本国憲法と現代政治のあり方	【知・技】政治・法・人権について理解している 【思・判・表】法の意義・人権の保障・民主政治のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】・「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
5	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	【知・技】地方自治と政党の役割について理解している。 【思・判・表】住民の権利・選挙の課題・主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】・「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
6	市場経済の機能と限界	【知・技】資本主義経済・貨幣の働き・消費者問題について理解している。 【思・判・表】市場・企業・消費者について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「市場経済の機能と限界」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
7	持続可能な財政および租税のあり方	【知・技】財政・租税について理解している。 【思・判・表】経済活動について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
9	金融を通した経済活動の活性化	【知・技】金融の働きと金融政策について理解している。 【思・判・表】財政における国と地方の役割分担・持続可能な財政について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
10	経済活動と福祉の向上	【知・技】産業構造・労働法・社会保障制度について理解している。 【思・判・表】中小企業・農業経営者・労働問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
11	国際法の果たす役割	【知・技】国際法・国際紛争・国際連合について理解している。 【思・判・表】領土問題・国際連合・核兵器廃絶について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
12	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	【知・技】日本の安全保障について理解している。 【思・判・表】国際社会において日本がこれから果たすべき役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
1	相互依存関係が深まる国際経済の特質 国際経済において求められる日本の役割	【知・技】国際分業・国際収支統計・為替相場について理解している。 【思・判・表】日本の対外経済取引・地域的経済統合について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1年間の学習を通して，ニュースなどの基本が理解でき，政治や経済の動向が分かるようになります。また，政治や経済についての見方が広がり，考え方も深まります。授業への積極的な取組みを期待します。特に、今の世の中に興味・関心を持つことが大切で日常からニュース、新聞のみならず身の回りで起きていることに注意しておくことが必要となります。

令和7年度 地理歴史科 世界史探究

1 科目について

単位数	4 単位	学科･学年	3年次
教科書	世界史探究（山川出版）	副教材等	特になし

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点･方法

知識及び技能	思考力･判断力･表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身につける。	【観点の到達目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
【イチカシ学力スタンダード】 ・必要な資料を選択して有効に活用し，社会的事象を一面的に捉えるのではなく，様々な角度から捉える力を身につける	【イチカシ学力スタンダード】 ・考察，構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力 ・概念などを活用して多面的･多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力	【イチカシ学力スタンダート】 ・多面的・多角的な考察や深い理解 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う ・日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さを深める
【評価の方法】 ･期末考査	【評価の方法】 ･期末考査	【評価の方法】 ･リアクションペーパー ･プレゼンテーション等

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力･判断力･表現力，主体的に学習に取り組む態度の３観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名 ・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界	【知・技】 世界各地で多様な支配観念（王権）が形成されたことを理解している。 古代オリエント文明とその周辺でおこなわれた神権政治の多様性を理解している。 中国の古代文明における神権政治の多様な展開とその現代的影響を理解している。 【思・判・表】 貧富の差の拡大や仕事の分業化などの社会的関係を多面的・多角的に考察し、支配観念の形成について表現している。 中国の古代文明における神権政治について、その推移や多様な展開の比較、現代的影響に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 諸地域世界の学習を振り返り、生業、身分、階級、王権、宗教、文化・思想などの学習の視点や方法について確認し、他の諸地域世界について、学習の視点や方法などのつながりを見出している。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
5	・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成	【知・技】 南アジアの人々が解脱などの内面的な信仰だけでなく、政治的文化的な働きを求めていたことを理解している。 ギリシア民主政と現代の政治制度との違いを理解している。 【思・判・表】 南アジアの王や宗教家、一般の人々が仏教に求めた働きを比較して、宗教に求められた働きについて多面的・多角的に考察し、表現している。 元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、帝国の強大さの表象など長期に繋栄した要因を理解している。 【主】 仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。 あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
6	・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【知・技】 イスラーム教が西アジア、北アフリカへの領域拡大と並行して伝播した経緯と、各地域の政治、文化の変容について理解している。 【思・判・表】 イスラーム教が西アジア・北アフリカを変容させていく状況を多面的・多角的に考察し、再定義している。 キリスト教を軸とするヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、改めて定義している。 【主】 イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
7	・ヨーロッパ世界の変容と展開	【知・技】 教皇権の伸長、西ヨーロッパの拡大運動と商業の発達、中世都市の誕生など、西ヨーロッパ中世の枠組みや体制が形成されたことを理解している。 中世西ヨーロッパの特徴である、封建制、王権の弱体状況を理解するとともに、それらが崩れて近代国家形成へ向かう状況を理解している。 【思・判・表】 西ヨーロッパの封建社会の中で展開した、教会制度・拡大運動・商業の発達の状況を、具体的に考察し定義している。 中世西ヨーロッパの文化のあり方を、ビザンツ帝国やイスラーム圏との関連を多面的・多角的に考察し、定義している。 【主】 中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
9	・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄	【知・技】 唐から宋にかけて、支配者層が入れ替わり、周辺所民族の侵入が中国社会に与えた影響を多面的に理解している。 ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となり、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解している。 【思・判・表】 唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや、周辺所民族との関りが中国社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、定義している。 ヨーロッパがしきりに海外進出を進めた 16 世紀の東南アジア、東アジアの社会の特色や多様性を理解している。 【主】 モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであ	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

		ったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。	
10	・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命	【知・技】 ルネサンス運動の多様性と、後のヨーロッパ社会や現代に与えた影響を理解している。 主権国家体制の成立の意義と三十年戦争の与えた影響を理解している。 フランス革命とナポレオンの支配の特色や多様性について理解している。 【思・判・表】 ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し、改めてルネサンス運動を定義している。 ヨーロッパ各地でおこなわれた宗教改革とカトリック改革や宗教対立がヨーロッパ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、宗教改革を定義している。 フランス革命とナポレオンの支配について多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について定義している。 【主】 主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
11	・イギリスの優位と欧米国民国家の形成	【知・技】 ウィーン体制のもとで構築されたヨーロッパの国際秩序の特質と、その崩壊の過程を理解している。 領土の拡大にともなう、奴隷制をめぐる南北の対立を背景に勃発した南北戦争の経過と、19 世紀後半のアメリカ合衆国の発展について理解している。 【思・判・表】 ウィーン体制の形成とその特質、ウィーン体制が 19 世紀のヨーロッパに及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その歴史的意義を表現している。 クリミア戦争後のヨーロッパ各国の情勢や、ビスマルクが再構築した列強体制、国際運動やヨーロッパの拡大について多角的・多面的に考察し、ヨーロッパの国際情勢の変化について表現している。 【主】 欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
12	・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動	【知・技】 オスマン帝国の弱体化と東方問題、列強の経済的支配と帝国が取り組んだ近代化をめざす諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いに巻き込まれたイラン、アフガニスタンの状況を理解している。 【思・判・表】 ヨーロッパ諸国の進出と反乱のなかで近代化にとりくんだ清、近代化とともに海外進出を進めた日本、日中両国が勢力を争った朝鮮について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主】 9 世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
1	・第一次世界大戦と世界の変容 ・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界	【知・技】 第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響を理解している。 植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊などをもとに、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 第二次世界大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど諸地域の変容を構造的に理解している。 【思・判・表】 19 世紀末から 20 世紀初めの国際関係と、それを背景としておこった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し、改めて世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊を定義している。 第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、改めて第二次世界大戦を定義している。 【主】 第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

世界史探究では、古代から現代までを扱います。二年次に受けた「歴史総合」の応用です。世界の歴史を広く浅く触れていこうと思っています。 この世界史探究の授業をうけて、他国の文化を尊重する大切さを学んでいってください。

令和6年度　地理歴史科　日本史探究

1　科目について

単位数	4　単位	学科･学年	3　年　選択者
教科書	詳説　日本史（山川出版社）	副教材等	最新 日本史図表（第一学習社）

2　科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3　観点の到達目標および評価の観点･方法

知識及び技能	思考力･判断力･表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	【観点の到達目標】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	【観点の到達目標】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
【イチカシ学力スタンダード】 ・基礎的・基本的事項の習得 ・資料の収集、読み取り、活用、まとめを確実に行える力	【イチカシ学力スタンダード】 ・歴史的なものの見方、考え方の習得 ・物事を多面的、多角的に考察し課題を把握する力 ・自分の考えを相手に効果的に説明したり、議論したりする力	【イチカシ学力スタンダート】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見、解決
【評価の方法】 ・定期考査・小テスト ・授業プリント ・授業での制作物　　など	【評価の方法】 ・定期考査 ・授業プリント、発表 など	【評価の方法】 ・授業内の発表、提出物 ・課題への取り組み ・振り返りシート　など

4　3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力･判断力･表現力，主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い，総合的に評価する。

5　学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	日本史を学ぶ前に必要なこと 日本文化のあけぼの	【知･技】　日本史の学習に必要な「時代区分」と各時代の大まかな特色、や日本地図の見方について、基本的な知識を理解している。 【思･判･表】　時間や空間を相手に分かるように表現できる。 【主】 自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。 【知･技】　縄文時代と弥生時代にどのような特色があり、社会の仕組みや文化を生み出し行き、現代との違いや同一性、現代に与えた影響を理解している。 【思･判･表】　遺跡や遺物などの資料をもとに各時代の特徴をまとめ、自分の意見として表現することができる。 【主】自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。	定期考査･小テスト 授業プリント･課題･発表

5	古 墳とヤマト政権	【知･技】東アジア世界の影響を受けて日本において、国家形成がどのようになされていったのかを理解している。 【思･判･表】　周辺諸国との関係や影響に着目して日本において古代国家の形成の過程について多面的･多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 【主】 自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。	定期考査･小テスト 授業プリント･課題･発表
6 7	律令国家の形成	【知･技】 律令体制の成立過程･貴族政治の展開，諸文化の特色，地方支配の変化や武士の出現など古代の社会と文化の変容を理解している。 【思･判･表】古代の国家･社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的 ･多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 【主】自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。	定期考査･小テスト 授業プリント･課題･発表
9 10	武家政権	【知･技】土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解している。 【思･判･表】 権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家･社会の変容を多面的･多角的に考察し，表現することができる。 【主】】自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。	定期考査･小テスト 授業プリント･課題･発表
11 12	近世	【知･技】 中世から近世への時代の転換を理解している。 【思･判･表】 時代の転換に着目して，近世の特色について多面的･多角的に考察し，時代を通観する問いを表現することができる。 【主】自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。	定期考査･小テスト 授業プリント･課題･発表
1	近代･現代	【知･技】　近代から現代への時代の転換および歴史的経緯を踏まえて，現代の日本の課題を理解している。 【思･判･表】 歴史の画期，地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係，それ以前の時代からの継続や変化などに着目して，現代の日本の課題の形成に関わる歴史について，多面的･多角的に考察，構想して表現ことができる。 【主】自らの学習を調整しながら、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等が身に付くよう粘り強く取り組もうとしている。	定期考査･小テスト 授業プリント･課題･発表

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「日本史探究」で学ぶことは現代に生きる私たち自身の姿を学ぶことでもあります。歴史に関する知識を基にして、現代の日本および世界の動向に興味･関心をもち，広い視野で物事を認識できるよう希望します。指示がなくとも自分で調べてみる主体的な学習習慣を身に付けましょう。調べたことをまとめ相手に誤解のないように伝える能力は社会に出てからも必要となります。　　プリントや課題など提出物の期限は厳守してください。

令和7年度 地理歴史科 日本史基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次選択者
教科書	詳説 日本史（山川出版社）	副教材等	最新 日本史図表（第一学習社）

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
【イチカシ学力スタンダード】 ・基礎的・基本的事項を身につける ・資料の収集、読み取り、活用する力を身につける。	【イチカシ学力スタンダード】 ・歴史の変化を多面的・多角的に思考・判断できる力を身につける ・自分の考えを相手に効果的に説明したり、表現したりする力を身につける。	【イチカシ学力スタンダート】 ・課題やグループワークを通じて歴史の事象の課題を主体的に追及する力 ・様々な事象を通じて多面的。多角的な主体性を育む
【評価材料等】 ・提出課題 ・定期考査・小テスト ・授業での制作物　など	【評価材料等】 ・提出課題 ・グループワーク、発表 ・定期考査　など	【評価材料等】 ・授業内の発表、提出物 ・グループワーク ・振り返りシート　など

学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第11章 近世から近代へ 1.開国と幕末の動乱 2.幕府の滅亡と新政府の発足	【知・技】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から定説に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 【思・判・表】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】日本の開国にかかわる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追求しようとしている。 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
5 ｜ 7	第12章 近代国家の成立 1.明治維新と富国強兵 2.立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1.日清・日露戦争と国際関係 2.第一次世界大戦と日本 3.ワシントン体制	【知・技】明治政府による中央集権化の諸政策と士族の反乱の終焉、諸外国との対外関係について理解している。 自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 条約改正の完成、東アジアへの勢力拡張などについて読み取り、この時期の戦争の背景や、日本の国際的地位の変化を理解している。 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経緯や民族運動の高揚に着目し、国大での社会運動がおこった背景と政党政治の成立について理解している。 【思・判・表】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追求しようとしている。 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追求しようとしている。 対外的な戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学	・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
		習へのつながりを見出そうとしている。	
9 ｜ 12	第14章 近代の産業と生活 1.近代産業の発展 2.近代文化の発達 3.市民生活の変容と大衆文化 第15章 教皇と第二次世界大戦 1.恐慌の時代 2.軍部の台頭 3.第二次世界	【知・技】産業の発達の背景を影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 政治・経済体制の変化に着目して、満州事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 【思・判・表】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 当時の社会が抱えた矛盾と満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【主】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追求しようとしている。 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追求しようとしている。 満州事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追求しようとしている。 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追求しようとしている。	・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
1	第16章 占領下の日本 1.占領と改革 2.冷戦の開始と講話	【知・技】第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 【思・判・表】戦後の諸改革が連合国の対日占領政策に基づくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果について根拠を明確にして表現している。 【主】現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果を課題について、主体的に追求しようとしている 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追求しようとしている。	・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
	テーマ史① 「食と日本人」	【知・技】食生活の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、時代の背景や生活の様子などを理解している。 【思・判・表】時代ごとの民衆の生活における諸課題を踏まえ、食生活の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】日本の食生活にかかわる諸事象を当時の社会情勢を踏まえて考察し、食生活の変化について主体的に追求しようとしている。	・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

日本史基礎では、近現代の歴史を世界と日本を通じて様々な角度から学習していきます。社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に活躍できる人になることを期待しています。
歴史に触れることは当時の人々がどのようなことを考え生活していたか、またどのような判断を下していたのか知ることができます。考え方の違いに触れ、受け入れることは、多様性を生きる皆さんにとって非常に大切な事となります。
時代を追っていく学習のほかに、テーマ史で日本の歴史を学習することもあります。時代ごとの特徴や変化を感じ、まとめ、表現しましょう。
自ら学習課題を設定し、探究し、表現することを重視しています。積極的に授業に取り組むことを期待しています。

令和7年度 地理歴史科 世界史基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科･学年	3年次選択者
教科書	世界史探究（山川出版）	副教材等	特になし

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点･方法

知識及び技能	思考力･判断力･表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身につける。	【観点の到達目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
【イチカシ学力スタンダード】 ･必要な資料を選択して有効に活用し，社会的事象を一面的に捉えるのではなく，様々な角度から捉える力を身につける	【イチカシ学力スタンダード】 ･考察，構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察し，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力	【イチカシ学力スタンダート】 ･多面的・多角的な考察や深い理解 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う ・日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さを深める
【評価の方法】 ･期末考査	【評価の方法】 ･期末考査	【評価の方法】 ･リアクションペーパー等 ･プレゼンテーション

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名 ・大交易・大交流の時代	【知・技】 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思・判・表】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス=カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
5	・アジアの諸帝国の繁栄	【知・技】 オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 【思・判・表】 オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
6	・近世ヨーロッパ世界の動向	【知・技】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 【思・判・表】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
7	・産業革命と環大西洋革命	【知・技】 産業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 【思・判・表】 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
9	・イギリスの優位と欧米国民国家の形成	【知・技】 19 世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や 1848 年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 【思・判・表】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19 世紀後半に 【主】 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

10	・アジア諸地域の動揺	【知・技】 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 【思・判・表】 マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について定義している。 【主】 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
11	・帝国主義とアジアの民族運動	【知・技】 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 【思・判・表】 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
12	・第一次世界大戦と世界の変容	【知・技】 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 【思・判・表】 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
1	・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知・技】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思・判・表】 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や・ 介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

世界史探究では、近現代を扱います。二年次に受けた「歴史総合」の応用です。世界の歴史を広く浅く触れていこうと思っています。この世界史探求の授業をうけて、他国の文化を尊重する大切さを学んでいってください。

令和7年度 数学科 数学Ⅱ

1 科目について

単位数	4 単位	学科・学年	2年次 総合進学 2年次 一般理系 2年次 一般文系選択 3年次 国際教養・一般音楽選択
教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）	副教材等	3TRIAL（数研出版）

2 科目の目標

いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につけている。	【観点の到達目標】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につけている。
【イチカシ学力スタンダード】 ・数学Ⅱにおける基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。	【イチカシ学力スタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。	【イチカシ学力スタンダート】 ・積極的に授業に取り組む姿勢や粘り強く問題に立ち向かう姿勢が身につく。
【評価の方法】 定期考査 小テスト	【評価の方法】 定期考査 小テスト	【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・発表の発言内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6	第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式	【知・技】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，簡単な場合について計算をすることができる。 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすることができる。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思・判・表】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用することができる。 【主】 ・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。
7 9	第3章 図形と方程式	【知・技】 ・座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・軌跡について理解し，簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・簡単な場合について，不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思・判・表】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 ・数量と図形との関係などに着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。
10 11	第4章 三角関数	【知・技】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式，三角関数の合成について理解している。 【思・判・表】 ・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。

12 1	第5章 指数関数・対数関数	【知・技】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思・判・表】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりす ることができる。 【主】 ・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活 用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。
2 3	第6章 微分・積分	【知・技】 ・微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解している。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思・判・表】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる。

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・「数学Ⅱ」は，「数学Ⅰ」の内容を発展，拡充させていく科目の一つで「数学Ⅲ」への橋渡しとなる科目です。将来，より高度な数学を学びたい人にとっては，その中核となる内容になっている大切な教科です。

・数学的な見方や考え方の良さについては，日常生活の中でも実感することができます。問題解決等に当たって，問題を数学の対象としてとらえ具体的な手順などを考えることや，数学的な計算や処理ができることが数学の理解を深めることになります。

・数学という教科は単に計算が得意であれば良いものではなく，物事に対して筋道を立てて考えるということがとても大切です。その考え方が他の教科や社会一般の中で役立つこともたくさんありますので，日々の学習を大切にして下さい。

・授業中だけではあまり問題演習の時間がとれないこともあります。授業での内容を習熟させるためにも家庭学習をしっかり行って下さい。

令和7年度 数学科 数学研究α

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科・スポーツ科学科 3年次 自由選択
教科書	なし	副教材等	パラレルノート 数学Ⅰ+A（数研出版）

2 科目の目標

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め，事象を数学的に考察し，表現する能力を高め，創造性の基礎を培うとともに，数学の良さを認識し，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 〇数学Ⅰについて 数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 〇数学Ａについて 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 〇数学Ⅰについて 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 〇数学Ａについて 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	【観点の到達目標】 〇数学Ⅰについて 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 〇数学Ａについて 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
【イチカシ学力スタンダード】 ・数学Ⅰ・Ａ における基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。	【イチカシ学力スタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。	【イチカシ学力スタンダート】 ・積極的に授業に取り組む姿勢や粘り強く問題に立ち向かう姿勢が身につく。
【評価の方法】 定期考査	【評価の方法】 定期考査	【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・発表の発言内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト ・ポートフォリオ など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学習に取り組む態度の３観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	～数学Ⅰ～ 第1章 数と式	【知・技】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，簡単な無理数の計算をすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，一次不等式の解を求めることができる。 【思・判・表】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
6	第3章 二次関数	【知・技】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思・判・表】 ・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
7	第4章 図形と計量	【知・技】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思・判・表】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
9	第5章 データの分析	【知・技】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思・判・表】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。	3の【評価の方法】に準ずる

		【主】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
10	～数学A～ 第1章 場合の数と確率	【知・技】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思・判・表】 ・事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主】 ・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
11 12	第2章 図形の性質	【知・技】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思・判・表】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
1	第3章 数学と人間の活動	【知・技】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 ・数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについて理解している。 【思・判・表】 ・数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主】 ・人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・数学の授業は、1時間ごとの積み重ねで進んでいきます。

欠席や公欠で出席できなかった授業は、自分で学習し、わからないときは、すぐに先生に質問し理解するようにしてください。

・数学で最も重要なことは、計算することではなく考えることです。数学を通して、論理的な考え方やその表現方法を学ぶことができます。

多くの問題を解き、自分で考える力を身につけてください。

・授業では、説明、例題、演習のくり返しです。

説明、例題でしっかりと理解し、そして演習では、何も見ずに解けるようになるまで練習してください。

・ノートは板書を単に写すだけではなく，例題の解法等において，手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。

・図やグラフは単にきれいにかくのではなく，ポイントをうまく表現できるようにかくことも理解を深めることになります。

・例題を参考に積極的に練習問題等に取り組み，繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。

・授業の開始のチャイムが鳴るまでに，授業に必要な道具を準備して各自着席を完了し，授業がすぐ始められるようにしてください。

・欠席をした場合は，その授業について十分に学習し，理解しておくことが大切です。必要であれば補習の申し出をすること。

令和7年度 理科 生物

1 科目について

単位数	4 単位	学科・学年	普通科 3 年 VW
教科書	高等学校生物（第一学習社）	副教材等	セミナー生物（第一学習社） スクエア最新図説生物（第一学習社）

2 科目の目標

生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験を行い生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。観察，実験を行い，基本操作を修得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。
【イチカシ学力スタンダード】 自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解する。 観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。	【イチカシ学力スタンダード】 観察・実験などを行い，科学的に考察する表現力を身に付ける。	【イチカシ学力スタンダート】 観察、実験、レポート、ノート作成を通して、知識を整理する。 演習を反復することで理解を深める。
【評価の方法】 定期考査，レポート 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 定期考査，レポート 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 レポート 授業プリント 授業ノート 授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	第1編『生物の進化と系統』 第1章：生物の進化 ①生命の起源と細胞の進化 第2編『生命現象と物質』 第3章：細胞と分子 ①生体物質と細胞 ②タンパク質の構造と性質 ③生命現象とタンパク質 第4章：代謝①代謝とエネルギー	・生物進化の前に無機物から有機物ができ，有機体ができる化学進化があったことがわかる。【知】【主】 ・原核細胞と真核細胞が誕生し，生物の進化と地球環境の変化との関係を見いだす。【主】 ・細胞小器官や細胞の働きを分子レベルで調べようとする。【知】【主】 ・細胞の内部構造と構成する細胞小器官の構造体や細胞骨格などの特徴，生体膜について考えることができる。【思・判・表】【知】 ・葉緑体の動きを確かめ，原形質流動について調べることができる。【思・判・表】【主】	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査

6 7	②炭酸同化③異化 第3編『遺伝情報の発現と発生』 第5章：遺伝情報とその発現 ①DNA の複製②遺伝子の発現 第6章：遺伝子の発現調節と発生 ①遺伝子の発現調節 第7章：遺伝子を扱う技術とその応用 ①遺伝子を扱う技術②遺伝子を扱う技術の応用 第Ⅰ編『生物の進化と系統』 第Ⅰ章：生物の進化①遺伝子とその変化	・生体物質の円滑な合成では，酵素が，触媒として作用し，輸送物質・情報物質としてのタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを考えることができる。 【知】【主】 ・温度・pHによるカタラーゼの酵素作用の変化について調べることができる。【知】 ・呼吸によって有機物からエネルギーがつくられる仕組みや，発酵，解糖系やクエン酸回路および電子伝達系について考えることができる。【知】 ・光化学系Ⅱ，光化学系Ⅰ，カルビン・ベンソン回路，光合成細菌，化学合成細菌ついて考えることができる。【知】【主】 ・有機窒素化合物を合成する働きである窒素同化がわかる。【知】 ・DNA の構造，遺伝情報の複製・転写・翻訳の仕組み，遺伝子発現の調節を学び，バイオテクノロジーの原理とその応用について調べようとする態度が育っている。【主】 ・遺伝子の変化と形質との関係を見いだす。【知】【主】	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
9 10 11 12	第Ⅰ編『生物の進化と系統』 第Ⅰ章：生物の進化 ②遺伝子の組み合わせの変化 第3編『遺伝情報の発現と発生』 第6章：遺伝子の発現と発生 ②発生と遺伝子の発現 第4編『生物の環境応答』 第8章：動物の反応と行動 ①刺激の受容と反応 ②動物の行動 第9章：植物の成長と環境応答 ①植物と環境 ②植物の一生と植物ホルモン 第5編『生態と環境』 第10章：生態系のしくみと人間の関わり①個体群と生物群集 ②生態系の物質生産と消費 ③生態系と人間生活 第Ⅰ編『生物の進化と系統』 第Ⅰ章：生物の進化 ③進化のしくみ	・減数分裂による遺伝子の分配と受精により遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じることを理解するとともに，遺伝子の連鎖と組換えについても調べようとする。【主】 ・優性形質や劣性形質による遺伝の法則，遺伝子の連鎖と組換えにより遺伝子の組み合わせが変わることを考えることができる。【思・判・表】 ・巨大な染色体をもつ，カの幼虫のだ腺細胞のだ腺染色体を観察することができる。【思・判・表】【主】 ・配偶子形成と受精，卵割から器官分化の始まりまでの過程について学び，細胞の分化と形態形成の仕組みを調べようとする。【知】【主】 ・ウニの受精のようすを観察することができる。 【思・判・表】【主】 ・動物の細胞の分化と形態形成がわかる。【知】 ・視覚・聴覚を中心に刺激の受容のしくみと情報の流れがわかる。【知】【主】 ・生後の経験により行動が変化したり、行動を習得するしくみを考える。慣れ、条件づけ、試行錯誤、知能行動のしくみと違いがわかる。【知】【主】 ・植物が周りの環境からの刺激に応答するしくみを学び，その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解する。【知】【主】 ・生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。【主】 ・同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。【知】 ・生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに，生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し，生物多様性の重要性を認識する。【思・判・表】 ・進化がどのように裏づけられ，その仕組みがどのように説明されているかを学ぶ。【主】	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
1	第Ⅰ編『生物の進化と系統』 第2章：生物の系統と進化 ①生物の系統 ②人類の系統と進化	・生物の分類の方法，系統を明らかにする方法，現在明らかになっている生物の系統について学ぶ。【知】【主】 ・真核生物ドメインにおける系統関係について理解する。【主】 ・霊長類の祖先が樹上生活に適応してから人類に進化するまでに何が起こったのかがわかる。【思・判・表】【主】	授業プリント 授業ノート 授業態度 小テスト

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・授業や実験は生物講義室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。

・持ち物 ： 教科書，ノート（授業プリントは点検・返却後，ノートに貼って管理する），問題集，問題集の解答解説，図説

※タブレットは、授業で使用する場合は事前に連絡します。

・実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。

令和7年度 理科 基礎理科

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	3 年次
教科書	なし	副教材等	なし

2 科目の目標

身近なものを題材に科学的に探究し、日常にあふれる身近な事物・現象について基本的な概念や原理・法則についての理解を深める。また、科学技術の在り方やエネルギー問題について市民が意思決定をするために必要な科学的な知識、能力、態度を身につける。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。	【観点の到達目標】 実験・観察などを通して、科学的な考えを深めるとともに、表現できるようにする。	【観点の到達目標】 日常生活や社会との関連について興味を持ち、目的意識をもって実験・観察に取り組む。
【イチカシ学力スタンダード】 身近な事物・現象について基本的な概念や原理・法則を説明できる。	【イチカシ学力スタンダード】 実験・観察の結果をもとに、自分の考えを表現することができる。	【イチカシ学力スタンダート】 積極的に実験・観察に取り組み、身近な事物・現象について科学的に考えようとする。
【評価の方法】 小テスト レポート 課題 発表 振り返りシート 授業態度	【評価の方法】 小テスト レポート 課題 発表 振り返りシート 授業態度	【評価の方法】 小テスト レポート 課題 発表 振り返りシート 授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	**物理分野** ○ 物理量の扱い ①有効数字の扱い ②物理量の計算の方法	・有効数字の意味や基本的な表し方を理解する ・物理量の計算（有効数字を含めた計算）を理解する	小テスト レポート 課題 発表 振り返りシート 授業態度
5	○ 物体の運動とエネルギー ①速さと等速直線運動 ②落体の運動	・実験レポートの書き方、プレゼンテーションのつくり方、発表の仕方について理解する。 ・物体の運動の基本的な表し方について，直線運動を中心に実験を行い理解する ・物体が落下するときの運動について，物体の種類を問わず同じ加速度が生じていることを、実験を通して理解する	
7	○ さまざまな力とそのはたらき ①玩具の原理 ②玩具の作成	・昔ながらの玩具について調べ，実際に作成してどのような原理のものなのかを理解する ・原理をもとに、さらに質を高めるための工夫を試行錯誤する	
9	**生物分野** ○ 微生物とその利用 ①日常生活と微生物 ②微生物とその利用	・カビの培養を通して、微生物がどのようなはたらきをするか理解する ・微生物が日常生活でどのように利用されているかを調べ、理解を深める	
10	**化学分野** ○ 材料とその利用 ①物質の特性 ②プラスチック ③繊維	・身近な物質がどのような特徴を持っているかを理解する ・さまざまな試薬を利用し、物質を特定する ・プラスチックの特性や問題点などを理解する ・身近にある繊維の種類と、基本的な性質について実験・観察などを通して理解する	
12・1	課題研究 ○ 自由課題	・各実験グループでテーマを設定し、実験・観察に取り組む	

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・授業や実験は物理実験室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。

・実験ノートとボールペンを各自用意すること。

・実験ノートとボールペン、 タブレットを毎回持ってくること。

・実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。

・積極的に実験に取り組むこと。

・理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組むこと。

・レポートやプレゼンテーション等の課題の提出期限を必ず守ること。

令和７年度 体育科 専攻実技

１ 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学力スタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学力スタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学力スタンダート】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

４ 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の３観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月～7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ】 【ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ】 【陸上競技】 （長距離） 【柔道】 【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習 ・総合練習 ・ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技（長距離）、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技（種目）に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月～12.月		【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月～3月		【知・技】 各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和７年度 保健体育科 スポーツ総合演習

１ 科目について

単位数	単位	学科・学年	スポーツ科学科 3学年
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

２ 科目の目標

1. 体育・スポーツに関する知識を学ぶ。
2. 運動の合理的な実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を育てる。
3. コンピュータを使って体育・スポーツに関する情報を処理できるようにする。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学力スタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	【イチカシ学力スタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学力スタンダート】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

４ 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
	(1)スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2)スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3)スポーツを通した社会参画に関する課題研究	・ガイダンス ・レポートの作成 ・プレゼンテーション資料の準備 【知・技】発表までの行程を理解する。 【思・判・表】レポート作成上の注意点や、評価基準を理解する。 パワーポイント作成用の資料準備を行う。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
	(1)スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2)スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3)スポーツを通した社会参画に関する課題研究	研究レポートの作成 【主】実験、調査、映像資料等の準備。 【思・判・表】発表用パワーポイントデータの作成。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
	(1)スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2)スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3)スポーツを通した社会参画に関する課題研究	研究レポート作成 課題研究発表会 【知・技】プレゼンテーション資料の完成 【思・判・表】展示資料の完成及び冊子の作成	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和７年度 保健体育科 スポーツ概論Ⅲ

１ 科目について

単位数	２ 単位	学科・学年	スポーツ科学科 ３ 年次
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

２ 科目の目標

1. 実習・体験・発表などの課題研究を通して、知識・技能の重要性を理解します。
2. 情報の分析・評価、論述や熟考、評価などの言語に関する能力を身につけます。
3. 自ら調べ、自ら学び実践していく能力を身につけます。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学力スタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。	【イチカシ学力スタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学力スタンダート】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ総合演習】 （1）スポーツの知識や実践に関する課題研究 （2）スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 （3）スポーツを通した社会参画に関する課題研究	・ガイダンス ・レポートの作成 ・プレゼンテーション資料の準備 発表までの行程を理解する。 レポート作成上の注意点や、評価基準を理解する。 パワーポイント作成用の資料準備を行う。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ総合演習】 （1）スポーツの知識や実践に関する課題研究 （2）スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 （3）スポーツを通した社会参画に関する課題研究	・研究レポートの作成 実験、調査、映像資料等の準備。 発表用パワーポイントデータの作成。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ総合演習】 （1）スポーツの知識や実践に関する課題研究 （2）スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 （3）スポーツを通した社会参画に関する課題研究	・課題研究発表会 プレゼンテーション資料の完成 展示資料の完成及び冊子の作成	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく，積極的に 自分自身の生活を振り返り，健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには，学習した内容をもとに，自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート（プリント）を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおく れないよう積極的に活動することが大切です。

（守ってほしい事項）

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始めますので，休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき，チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和７年度 保健体育科 スポーツⅥ

１ 科目について

単位数	１ 単位	学科・学年	スポーツ科学科3年
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

「スポーツⅥ」で取り上げる体つくり運動は、運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるといった特性がある。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 体つくり運動について、個人や対人及び集団で取り組む各種の技や技能を習得する。体つくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のしかた、課題解決の方法などを理解している。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学力スタンダード】 ・体ほぐしの運動について、個人で取り組む運動の他に、ペアで行うもの、集団で取り組むものなどの運動ついて、正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体力を高める運動について、①大きな力を発揮する②スピーディな動き③動きを持続する④体の柔らかさを高める⑤動きの巧みさを高める⑥総合的に体力を高める、などの動きを正しく理解して身体を動かすことができる。・体つくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のしかた、課題解決の方法などを理解する。	【イチカシ学力スタンダード】 ・自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅥ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や運動の組み立て方ができる。	【イチカシ学力スタンダート】 ・体つくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにすること。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月から12月	ガイダンス ア 体ほぐし運動 イ 体力を高める運動"	【知・技】 ・「体つくり運動」学習の意義や内容、評価の方法を理解すること。 【思・判・表】 ・ペアストレッチングを行い、相手の体に気を配りながら身体各部の筋肉を伸ばす。 ・総合的なトレーニングの方法を理解し、実践することで筋力や持久力を高める。 ・エアロバイク等の利用方法を理解し、実践することで持久力を高める。 【主】 ・トレーニング場の利用方法や器具の正しい使用方法を身につけ、体力の向上を図る。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和７年度 保健体育科 スポーツＶ

１ 科目について

単位数	１ 単位	学科・学年	スポーツ科学科３年
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

「スポーツＶ」で取り上げる野外の運動は、主として校外学習として自然環境の中で行われる体験的活動である。野外の運動は、日常生活の場から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、冒険的な活動をしたり、競技を行ったりする特性がある。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然体験型野外活動においては、その特性に応じた活動ができる。競技型野外活動においては、その特性に応じた技能を高める。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できる。	【観点の到達目標】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解する。
【イチカシ学力スタンダード】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【イチカシ学力スタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツＶ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を組み立て、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標修正や練習計画の組み立てなどができている。	【イチカシ学力スタンダート】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ

４ 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の ３ 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
1 学 期	野外活動 【キャンプ・登山】 〇事前学習 ・キャンプ概論 テントの設営 テントの点検 飯盒炊爨 調理器具の点検 ・ｷｬﾝﾌﾟ ﾌｧｲﾔｰ 運営について ｽﾀﾝﾂについて ・登山について	【知・技】 ・安定したテントの張り方を学び、テントの各部分の名称と付属品お名前を理解する。 ・各班でｽﾀﾝﾂの企画、練習を行い、仲間と協力できる資質や態度を身につける。 ・登山の意義や目的を学び、自然を愛する態度を身につける。 【思・判・表】 ・登山実習に向けての事前学習に取り組む。 ・実習の意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度を育成する。 【主】 ・食事の献立を各班で作成し、仲間と協力して準備する態度を養う。 ・ｷｬﾝﾌﾟ ﾌｧｲﾔｰの意義や目的を学び、協力して運営する態度を養う。	行動観察 ワークシート分析
2 学 期	野外活動 【キャンプ・登山】 【登山実習】 実習① （安全面の知識・理解） 実習② 登山	【知・技】 ・安定したテントの張り方を学び、テントの各部分の名称と付属品お名前を理解する。 ・各班で登山の企画、練習を行い、仲間と協力できる資質や態度を身につける。 ・登山の意義や目的を学び、自然を愛する態度を身につける。 【思・判・表】 ・登山実習に向けての事前学習に取り組む。 ・実習の意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度を育成する。 【主】 ・食事を各班で作成し、仲間と協力して準備する態度を養う。	ワークシート分析 行動観察
3 学 期	野外活動 【登山】 【事後学習】 振り返り・反省 用具の掃除 消耗品などの点検	【知・技】【主】 ・野外での活動になるため、安全に活動するために必要な知識と技術を身につける。 【思・判・表】 また、山の天候は急変することが多く、その日一日のなかでも大きく変化することがあります。様々な状況に対応できる技術や判断力を養う。	ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和７年度 保健体育科 スポーツⅣ

１ 科目について

単位数	１ 単位	学科・学年	スポーツ科学科3年
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

「スポーツⅣ」で取り上げるダンスはイメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表したり伝承されてきた地域や風土などの背景や情景を思い浮かべて仲間やパートナーと踊ったりすることを通して身体を通して自由に自己を表現するとともに心を解放して誰とでも楽しく交流するといった特性がある。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能を習得する。ダンスについての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学力スタンダード】 ・ダンスについて、作品の創作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語、それぞれのダンスには多様な表現につながる重要な動きや空間の使い方などのポイントがあることなどを理解すること。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方で変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して音楽に合わせて前進で自由に踊ったり、変化やまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ること。	【イチカシ学力スタンダード】 ・ダンスに関する運動のおこない方、仲間と教え会うなどの活動のしかた、健康・安全の確保のしかた、運動の継続のしかたのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適用したり、応用したりすること。	【イチカシ学力スタンダート】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなど、健康・安全を確保することができるようにすること。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる Ａ おおむね満足できる Ｂ 努力を要する Ｃ

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月から9月	創作ダンス	【知・技】 ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲する。 ・作品の展開や公正を工夫して発表する。 【思・判・表】 ・発表された作品に対して、適切な評価を行う。 【主】 ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲、作品の展開や公正を工夫して発表できるようにする。グループで工夫してダンスを楽しみながら交流する。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト
10月から12月	現代的なリズムのダンス	・それぞれのグループで1つの作品をつくり発表し、お互いに評価する。【知・技】 ・ヒップホップなどの現代的なリズムに合わせて、リズムの取り方や身体の動かし方を工夫して、協力してダンスをつくりあげ発表する。【思・判・表】 ・現代的なリズムに乗って、グループで工夫をして踊りを楽しみながら交流する。【主】	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和７年度 保健体育 スポーツⅡ

１ 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学力スタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学力スタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学力スタンダート】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い，総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月から3月	単元名 バドミントン 卓球	学習内容(前期) ・ガイダンス ・基本練習 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・バトミントン、卓球のルールや用語を理解する。【知・技】 ・ラケットの操作や、サーブなどの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームでおこなう知識を身につける。【思・判・表】 学習内容（後期） ・応用動作 ・簡易ゲーム 評価の観点 ・ダブルスでは、パートナーとの攻防の際の連携パターンを理解して、ゲームに応用する。【思・判・表】 ・個人やチームの特長を活かして、有効にゲームを展開できるようにする。【思・判・表】 ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、試合を適切に運営すること。【思・判・表】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察
4月から3月	ソフトボール	学習内容（前期） ・ガイダンス ・基本動作 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・競技のルールや用語を理解する。【知・技】 ・バットやグローブの操作、安定した用具の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【思・判・表】 学習内容（後期） ・応用動作 評価の観点 ・個人やチームの特長を活かして作戦を立て、実践の場面を想定しながらの練習を行う。【知・技】 ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、試合を適切に運営すること。【思・判・表】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和７年度 保健体育科 スポーツⅠ

１ 科目について

単位数	１単位	学科・学年	３年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，主体的，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，健やかな心身の育成に資するとともに，生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに，技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し，思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに，公正，協力，責任，参画，共生などに対する意欲を高め，健康・安全を確保して，生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学力スタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高め、新たに得意技を身に付けた動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。	【イチカシ学力スタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅠ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学力スタンダート】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の３観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	単元名 男子・器械体操（鉄棒） 女子・陸上競技（跳躍・投擲）	【知・技】（知）学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（行動観察）	
6 7	水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ）	【知・技】（知）学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（行動観察）	
9 10 11 12	水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ） 男子・陸上競技（跳躍・投擲） 女子・器械運動（平均台） 男子・器械運動（鉄棒） 陸上競技（長距離走）	【知・技】自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。(行動観察・スキルテスト・ワークシート分析) 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（行動観察）	
1	陸上競技（長距離走）	【知・技】）学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 (ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（行動観察）	

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和７年度 保健体育科 スポーツⅢ

１ 科目について

単位数	１単位	学科・学年	３年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

２ 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，主体的，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，健やかな心身の育成に資するとともに，生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。

３ 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに，技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し，思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに，公正，協力，責任，参画，共生などに対する意欲を高め，健康・安全を確保して，生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学力スタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高め、新たに得意技を身に付けた動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。	【イチカシ学力スタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅠ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学力スタンダート】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の３観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1	単元名 柔道 剣道	【知・技】（知）学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（行動観察）	

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和７年度　　書　道　Ⅲ

単位数	２　単位	学科・学年・学級	３学年　全組
教科書	書道Ⅲ （東京書籍）	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学力スタンダード】 ・書の表現の方法、形式、書表現の多様性を理解する。 ・書写能力を向上させ、書の伝統に基づいた効果的な表現のための基礎的な技能を身に付ける。 （よく見て正確に表現する）	【イチカシ学力スタンダード】 ・意図に基づいた表現について創造的に深く構想し工夫した作品作りを習得する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 （自分の思いを表現する）	【イチカシ学力スタンダート】 ・主体的に書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価材料等】 ・作品 ・ワークシート　など	【評価材料等】 ・作品 ・ワークシート　など	【評価材料等】 ・ワークシート ・取り組みの様子

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4 5 6 7	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷 ・古典に学ぼう ①九成宮醴泉銘 ②蘭亭序 ③曹全碑 ・刻字作品を作ろう	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。 ・古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・作品ごとの用筆と字形の特徴を理解し臨書する。 ・それぞれの表現の違いを理解し、その特徴を時代背景や人物を通して鑑賞する。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。 ・刻字の手順を理解し、構想を練り、制作する。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	ワークシート 作品 観察 ワークシート 作品 観察
9 10 11 12	漢字の書	・篆書 ・篆刻を楽しむ ・創作をしよう ①半切作品 ②書初め 創作	・篆書の種類や成立過程を理解する。 ・篆刻の用具・用材や創作の手順につて理解し、構想を練り、創作につなげる。 ・創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら臨書する。 ・年始の書初めにふさわしい語句で作品を仕上げる。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	ワークシート 作品 観察 ワークシート 作品 観察 作品 観察

1 2 3	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう ・創作しよう	・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・創作の手順を理解し、作品の構成を練る。 ・構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深め、書写能力の向上を図りましょう。
・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けましょう。
・書のよさや美しさを感じ「何を表現したいか」を考え表現を工夫した作品を作りましょう。
・主体的に書の幅広い活動に取り組みましょう。
・書を愛好する気持ちで書の伝統と文化に親しみ継承しましょう。
・書を通して心豊かな生活や社会を創造していく気持ちを持ち続けてください。

・作品を丁寧に扱うように、道具の扱いや書道教室の使い方も丁寧にしましょう。
片付けや教室内の整理整頓までしっかりと気を配り、美しい作品を作りましょう。

令和７年度　美術　クラフトデザイン　シラバス

単位数	２　　単位	学科・学年・学級	３年次
教科書	なし	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。・
【イチカシ学力スタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学力スタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学力スタンダート】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

2　学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	染色（手拭い）	手描き染めによる手拭い ・名画を選ぶ	・原色日本の美術、浮世絵、アールヌーボーのデザインなど過去の名作をアレンジして、手拭いをデザインする。	・過去の名品に触れ、味わうことができたか。
5		・手拭いに名画をレイアウト	・自分の選んだ名画を手拭いの大きさに落とし込んでいく。 ・いくつか組み合わせてもよい。	・絵画の比率と手拭の比率を考えられたか。 ・美しくレイアウト出来たか。
6		・転写 ・線描	・パネルに晒しぬのをマスキングテープで貼る。 ・名画の原画をトレーシングペーパー紙に写し、用意してあるボール紙に貼り、その上に晒し布を伸ばしてマスキングテープで貼り、布ペン（極細）で描いていく。	・トレーシングペーパーで移すときの注意として、その線を元に名画をかいていくことをかんがえられたか。 ・本番の描写は綺麗に適切に描けたか。
7		・彩色	・全て線描したら、布ペンで彩色していく。 ・混色、ぼかしなども、適切に指導しながら、難易度をあげ、友禅染をイメージさせながら染めていく。	彩色はきれいにできたか。 ・配色は適切に考えられたか。 ・ぼかし、混色はきれいにできたか。
8				
9	Aベルトとバックル Bシルバーリング	A か B を選んで制作 A デザイン B デザイン	A・デザイン ・図面 ・鑢で削る B・デザイン ・ロウ付け ・丸く叩く	AB ともに技法、手順を理解してデザインできたか ・A 鑢は適切に安全に使えたか ・B はロウ付け、叩きは適切に安全に作業できたか。